

平成24年度 お茶の水女子大学経営協議会（第2回）議事録

日 時：平成24年6月19日（火）15：00～16：30
場 所：お茶の水女子大学 大学本館2階 第一会議室（213室）
出席者：（学外委員）足立委員、池田委員、槍田委員、小倉委員、小野委員、
國井委員
（学内委員）羽入学長、市古理事、耳塚理事、河村理事、江澤理事、
鷹野副学長、三浦副学長（戦略担当）
（陪 席）斎藤監事、吉武監事、
三浦文教育学部長、大塚生活学部長、
石口人間文化創成科学研究科長、高崎附属学校部長
香西財務室長、新井総合評価室長

1. 開会

2. 〔平成23年度（第4回）〕議事録（案）、〔平成24年度（第1回）（持ち回り）〕議事録（案）の確認

○修正等がある場合は、本日から一週間位までの間に、総務チームまで連絡することとした。

3. 審議事項

（1）平成23事業年度に係る業務の実績に関する報告書について

○総務機構長より、平成23事業年度に係る業務の実績に関する報告書について、【資料3】に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

（2）平成23年度決算について

○総務機構長及び財務チームリーダーより、平成23年度決算について、【資料4】に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

（3）平成25年度概算要求について

○総務機構長より、平成25年度概算要求について、【資料5】に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

（4）国立大学法人お茶の水女子大学学長選考会議委員の選出について

○総務機構長より、国立大学法人お茶の水女子大学学長選考会議委員の選出について、【資料6】に基づき説明があり、審議の結果、下記のとおり選出された。

足立直樹 経営協議会委員
池田守男 経営協議会委員
小野元之 経営協議会委員
北村節子 経営協議会委員
國井秀子 経営協議会委員

4. 報告事項

（1）国立大学法人お茶の水女子大学学長選考規則の一部改正等について

○学長及び人事労務チームリーダーより、国立大学法人お茶の水女子大学学長選考規則の一部改正等について、【資料7】に基づき報告があった。

（2）外部資金受入状況について

○国際・研究機構長より、外部資金受入状況について、【資料8】に基づき報告があった。

- (3) 桜蔭会研究奨励賞及び大学院博士後期課程研究奨励賞について
○教育機構長より、桜蔭会研究奨励賞及び大学院博士後期課程研究奨励賞について、【資料9】に基づき、報告があった。
- (4) 平成23年度卒業生・修了者の就職状況について
○教育機構長より、平成23年度卒業生・修了者の就職状況について、【資料10】に基づき報告があった。
- (5) 第5回ホームカミングデイについて
○鷹野副学長より、第5回ホームカミングデイの実施状況について、【資料11】に基づき報告があった。

5. 意見交換

○大学改革について

学長より、大学機能の再構築、機能再構築のためのガバナンスの充実・強化が国立大学に求められていることの説明があり、大学のミッションを明示し戦略をまとめるために助言願いたい旨発言があった。

■学外委員からの主な意見は以下のとおり。

- ・競争的な資金を獲得することが必要。
- ・アンブレラ方式に組み込まれるのではなく、独自性を発揮し、単独の大学として頑張ってもらいたい。
- ・社会のニーズの変化を反映した上で、議論してほしい。
- ・社会の期待に応える教育改革には、社会の変革が不可欠であることを発信してもらいたい。
- ・日本の将来のためには、女性の能力を活用することが不可欠であるので、お茶の水女子大学の存在は大きい。
- ・入試を中心に組まれている高等学校までの教育体制からの改革を、率先して取り上げていただきたい。
- ・SAT等教養教育的な能力テストの導入について、期待している。
- ・専門科目は英語で授業を行うことが大事。特に大学院では、英語での授業だけを履修し修了できるコースを設置することも重要。
- ・理系女子が少なく、企業が採用したくてもできないのが実情である。附属学校と連携して進路・キャリア指導の強化をしてほしい。

■本学からの主な回答・発言は以下のとおり。

- ・この大学は、独自の存在として存続させていくべきと考えている。
- ・若手の教員を中心に、将来構想について議論していくことを考えている。
- ・本学が、3E（教育・雇用・起業）のそれぞれの分野への女性の進出のモデルとなるべきであり、提案する立場にある。
- ・共学の大学の女子教育とは異なった、国立女子大学としての役割と女性の教育があると考えている。
- ・入試改革をするためには、入試センター試験の占める比重が一番大きいですが、変化を待つだけではなく、本学から変化を起こすことが望ましい。
- ・アグレッシブに動いていくことの必要性も自覚している。

6. その他

- 鷹野副学長より、公開連続講演会第6回リーダーシップ論について、【資料12】に基づき案内があった。

- 学長より、次回以降の開催予定について、【資料13】に基づき説明があり、次回開催は、平成24年10月16日（火）15時からであることを確認した。

以 上